

Light Metal Colors

～軽金属業界で活躍する多様な技術者 / 研究者～

鈴木 太一さん

(所属・役職) UACJ R&Dセンター 熱製品開発部
オールアルミ熱交材料開発室長

(略歴) 2012年旧住友軽金属入社、2013年統合によりUACJに、
2025年 博士(学術)取得

(趣味、家族構成など) 趣味：楽器演奏、家族構成：妻、長女(5才)、長男次女(3才)
(思い出の一枚) 気持ちよく潰せた押出材。今ではペン立てに。



進路の決め手

好きなものに全力

学生時代は部活中心の生活でした。オーケストラ優先で授業は後回し、追試も含め何とか進学・・・を繰り返していました。

卒業論文のアブストラクト提出が、学生生活で最後の演奏会(コンサートマスター！)の2日後というスケジュール。試料研磨の合間に練習したり、SEM室に籠もって夜通しEBSDを取りながら練習したり・・・うまく両立できなかった部分も多々ありましたが、何とか両方とも無事に終えることができました。

仕事・研究エピソード

金属材料との出会い

高校3年生の夏に玄武洞を訪れ、結晶構造の魅力に気付く。その流れで理学部または工学部を志す。専攻選択はダーツの旅・・・ではなく、部活の先輩の誘いもあって材料系学科に進学。オムニバス講義で金属材料の概論に触れ、自身の結晶構造への興味と当該分野との親和性に気づく。研究室選択の際には、鉄鋼材料の研究室を志望し、希望通り配属。が、部活にかまけて大学院入試は不合格・・・就職を決意。若い金属材料への興味と、身の回りに多い金属材料の研究開発に携わりたい思いから、旧住友軽金属工業に入社。現在に至る。

現在～仕事と生活

材料開発の仕事

UACJのR&Dセンターではアルミニウム材料やその周辺技術の研究開発に取り組んでいます。当室では、空調分野の熱交換器用材料の開発を担当しています。「オールアルミ熱交材料開発室」の名前が示す通り、熱交換器部分へのアルミニウム材料の適用拡大を目指して、様々な材料の開発を推進しています。また、日々の開発の中で生まれた要素技術や着眼点を落とし込んだ、研究活動にも力を入れています。

将来について

今は子育てに全力！

自身の時間の内、仕事：家庭：趣味を数値で表現すると6:4:0。夫婦ともに、出張で家を空けることもありますが、分担しながら何とかやりくりしています。ここ最近、楽器演奏という意味での趣味の時間は皆無・・・その分、子供たちに全力で遊んでもらっています。

学生の皆さんへのメッセージ

学生生活は貴重な時間

社会人博士として大学に戻って初めて、大学という自由に過ごせる環境の貴重さに気づきました。学問や研究に集中する、留学する、部活に打ち込む・・・過ごし方は様々ですが、この期間は唯一無二のものです。

後悔ややり残しがないように、学生生活を目一杯楽しんでください。